

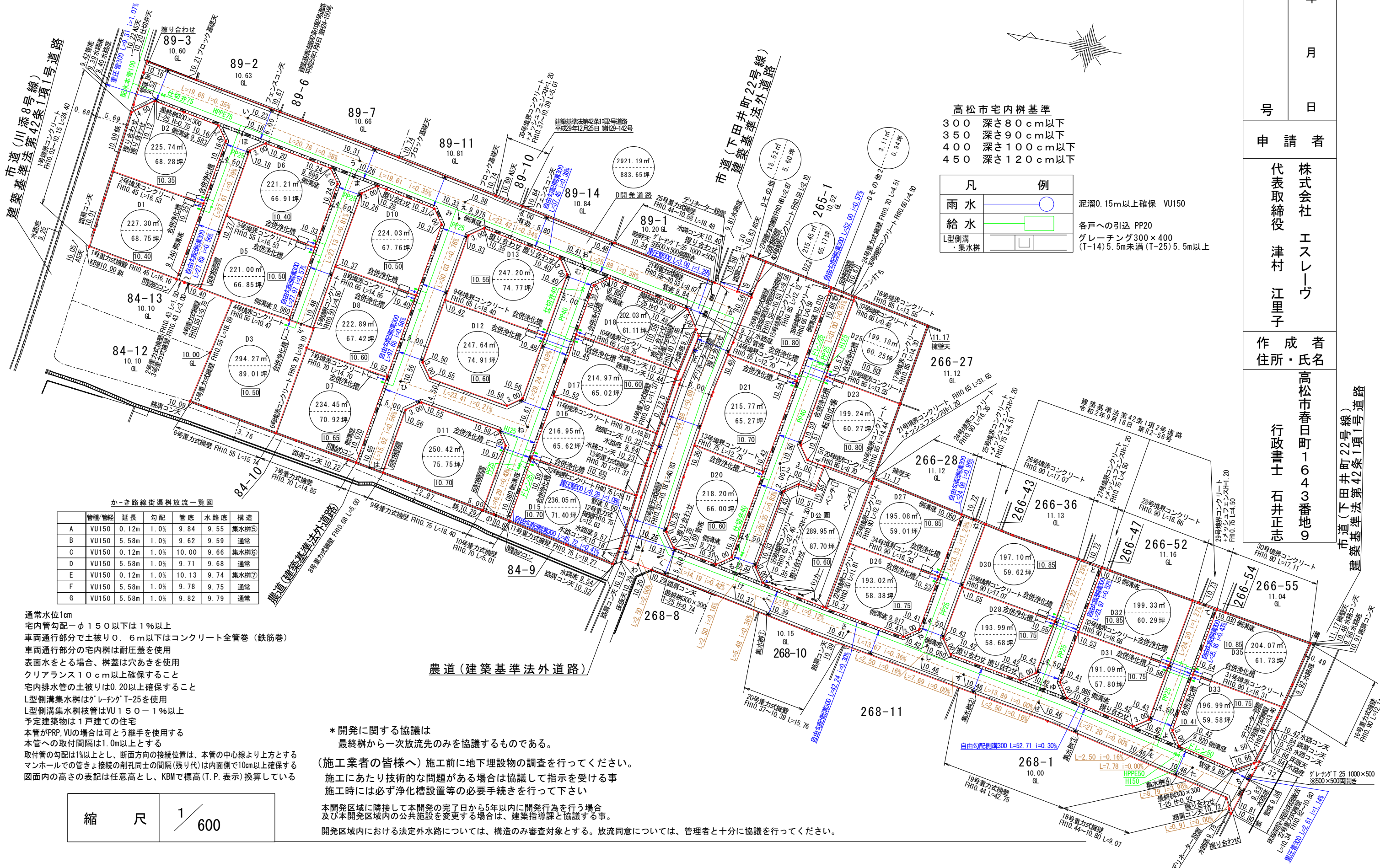
土地の所在 高松市下田井町字天神前84-1、84-2、84-3、84-6、84-7
 高松市下田井町字助成266-3、267-1、267-2、267-4、
 266-14の一部及び地先水路、市道

土地 利用 計画 図

開発許可
 年月日
 第 令和 年 月 日
 号 日

申請者
 株式会社 エスレーヴ
 代表取締役 津村 江里子

作成者
 住所・氏名
 高松市春日町1643番地9
 行政書士 石井正志



かき路線街渠排水一覽図

管種/管径	延長	勾配	管底	水路底	構造
A VU150	0.12m	1.0%	9.84	9.55	集水樹⑤
B VU150	5.58m	1.0%	9.62	9.59	通常
C VU150	0.12m	1.0%	10.00	9.66	集水樹⑥
D VU150	5.58m	1.0%	9.71	9.68	通常
E VU150	0.12m	1.0%	10.13	9.74	集水樹⑦
F VU150	5.58m	1.0%	9.78	9.75	通常
G VU150	5.58m	1.0%	9.82	9.79	通常

通常水位1cm
 宅内管勾配φ150以下は1%以上
 車両通行部分で土被り0.6m以下はコンクリート全管巻(鉄筋巻)
 車両通行部分の宅内樹は耐圧蓋を使用
 表面水をとる場合、樹蓋は穴あきを使用
 クリアランス10cm以上確保すること
 宅内排水管の土被りは0.20以上確保すること
 L型側溝集水樹はグレーチングT-25を使用
 L型側溝集水樹枝管はVU150-1%以上
 予定建築物は1戸建ての住宅
 本管がPRP、VUの場合は可とう継手を使用する
 本管への取付間隔は1.0m以上とする
 取付管の勾配は1%以上とし、断面方向の接続位置は、本管の中心線より上方とする
 マンホールでの管きよ接続の削孔同士の間隔(残り代)は内面側で10cm以上確保する
 図面内の高さの表記は任意高とし、KBMで標高(T.P.表示)換算している

* 開発に関する協議は
 最終樹から一次放流先のみを協議するものである。

(施工業者の皆様へ) 施工前に地下埋設物の調査を行ってください。
 施工にあたり技術的な問題がある場合は協議して指示を受ける事
 施工時には必ず浄化槽設置等の必要手続きを行って下さい

本開発区域に隣接して本開発の完了日から5年以内に開発行為を行う場合
 及び本開発区域内の公共施設を変更する場合は、建築指導課と協議する事。
 開発区域内における法定外水路については、構造のみ審査対象とする。放流同意については、管理者と十分に協議を行ってください。

縮 尺 1 / 600